

環境負荷

企業は事業活動（事業所の維持・商品の輸送など）をするうえで、地球環境にマイナスの影響を及ぼしています。これを環境負荷といいます。

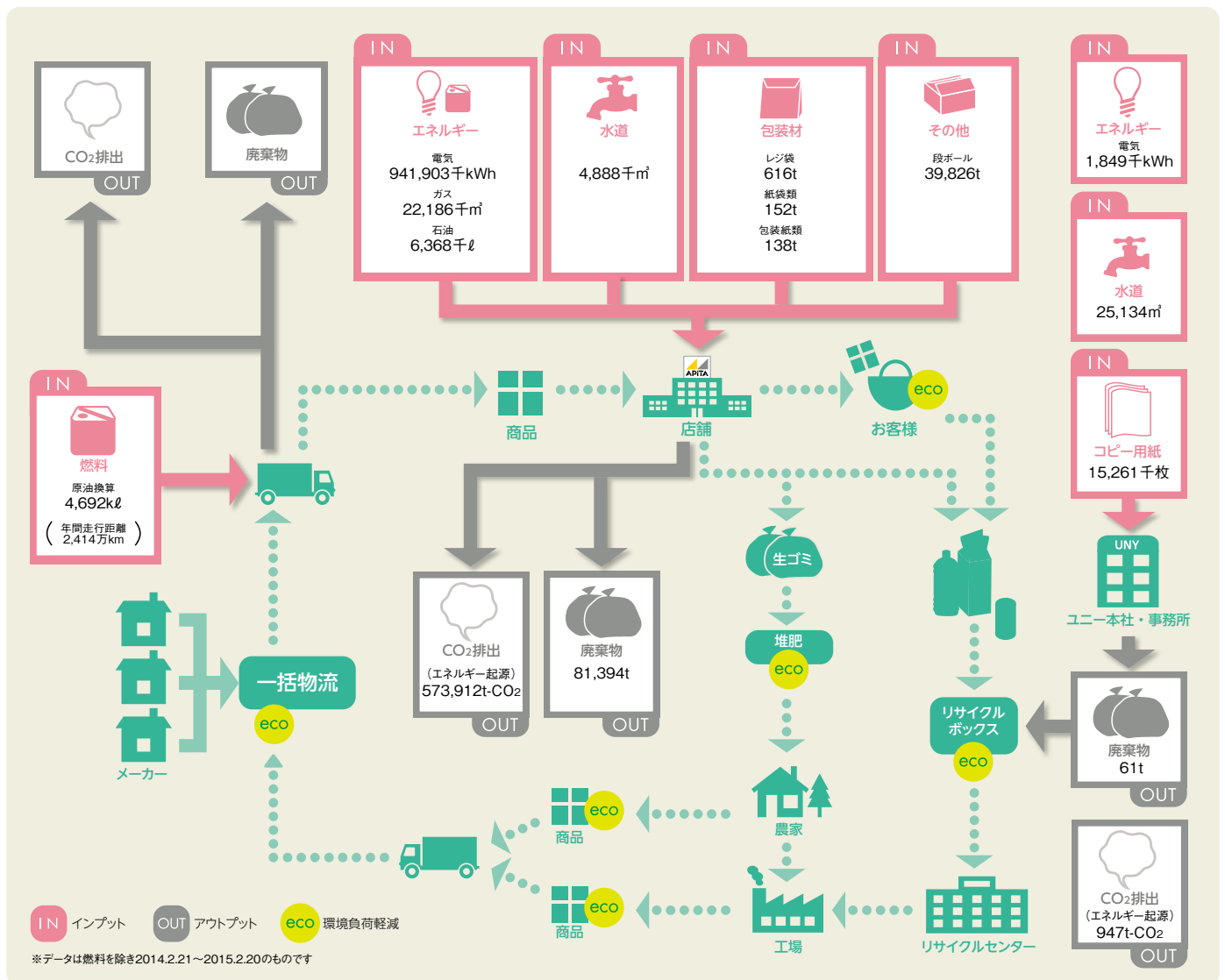
ユニーはこれらの環境負荷をできるだけ出さないよう、継続的に軽減していくよう、

その原因を調べ対策を考え行動していくことを、従業員や関係者がそれぞれの役割の中で実践しています。

事業活動における環境負荷

ユニーの事業活動の中で環境負荷の大きな原因は、店舗でのエネルギー使用です。店舗では、照明や空調・食品の冷蔵・冷凍の陳列ケースなどに電気やガスなどのエネルギーを使います。また、商品の輸送や冷蔵・冷凍保管の倉庫などでも多くのエネルギーを使用しています。これらのエネルギーは化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）から得ているため、地球温暖化の原因といわれているCO₂などを排出しています。それ以外にも、店舗から排出する廃棄物やお客様が商品と一緒に持ち帰る容器包装も大きな環境負荷の原因になります。

ユニーでは、これらの原因を明らかにし、環境負荷の低減に努め、エコ・ファースト企業として持続可能な社会を目指します。



環境負荷削減に向けての取り組み

私達物流部は、環境負荷削減に向けて「一括配送」、「混載推進」等で輸送の合理化を図り、CO₂の発生抑制に取り組んでいます。その結果、以下のとおりになりました。

- エネルギー使用量は、原油換算で4,692ℓ、前年比98.9%
- 輸送量は、4,400万tkm、前年比97.8%（輸送距離 2,414万km）
- エネルギーの使用に伴って発生するCO₂排出量は、12,469t-CO₂、前年比98.9%、原単位では、101.1%
- 段ボール購入金額（弥富センター購入分）は、3,650万円、前年比102.8%

各センターにもデジタコ、ドライブレコーダー等で「エコ運転の啓蒙」に努めています。2015年は、3月に北陸、6月に山静で統合センターが稼働しました。また、秋に関東北、2016年早々に関東南で同様のセンターが稼働予定で、さらなる物流の効率化を目指していきます。



IT物流本部
物流部長 村井 秀紀